



◀12月6日には近藤市長が披露された実車を確認しました。

山陰初の新型車両を導入
平成10年に導入したはしご車の老朽化に伴い、ブーム付多目的消防ポンプ自動車を消防本部に配備しました。この車両は13・7メートルのブームを持ち、4階程度の中高層建物の救助活動を行うことができます。また、900リットルの水槽のほか、圧縮空気泡消火システムを装備しており、泡放水が可能です。旧車両に比べ新車両は、コンパクトになり活動範囲が広がりました。高所からの放水もできるため、これまで以上に有効な消火活動が期待できます。

住民参加で原子力防災訓練
国、県等と連携した安来市原子力防災訓練を11月8日～10日に実施しました。島根県東部を震源としたM7・3の地震が発生したと想定。安来市災害対策本部を立ち上げるとともに、初動対応について手順等を確認しました。
9日には、地震に伴い島根原子力発電所の全電源が停止し、異常が発生した段階に進展。内閣総理大臣から原子力緊急事態宣言が発令され、安来市と内閣府、県など関係機関とのテレビ

会議による通信訓練を行いました。10日には緊急事態宣言を受けた住民避難訓練を実施。吉田・大塚地区の住民約50人が参加し、一時集結所（市役所防災研修棟）に集まり、安定ヨウ素剤の緊急配布訓練を行いました。その後、住民はバスに乗って退域時検査が行われる中海ふれあい公園へ向かい、車両の線量測定や洗浄をはじめ、個人の体表面の線量測定等の訓練を行いました。
安来市は発電所から30km圏内に約86%の市民が暮らしており、毎年訓練を行っています。



▶トロフィーを持つ倉井さんと愛牛のひみさくら号。

安来の子牛がナンバーワン
島根県中央家畜市場で11月15日、島根中央子牛共進会が行われ、倉井公子さん（広瀬町下山佐）の子牛が最高位のグランドチャンピオンに輝きました。審査では、骨格や体つきなどの発育が良好な点、体上線の伸びの良さなどが評価されました。
また、同共進会では、清山高康さん（広瀬町富田）の子牛が腿部位賞を受賞。腿の広さや厚み、肉付きの良さが受賞の決め手でした。
市内の子牛の育成レベルの高さを示す結果となりました。



▶内閣府等とテレビ会議に参加する近藤市長（11月9日災害対策本部会議）



◀線量測定を受ける訓練に参加した住民（11月10日中海ふれあい公園）